



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年8月6日

上場会社名 株式会社マルハニチロホールディングス  
コード番号 1334 URL <http://www.maruha-nichiro.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久代 敏男

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 川 文人

TEL 03-6833-0826

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	195,009	3.9	3,939	35.9	4,905	20.6	7,057	165.9
24年3月期第1四半期	202,850	0.5	6,148	25.5	6,175	32.7	2,654	16.2

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 8,908百万円 (132.8%) 24年3月期第1四半期 3,826百万円 (45.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	13.85	13.02
24年3月期第1四半期	5.22	4.89

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	495,474	81,527	13.7
24年3月期	468,054	73,737	13.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 67,866百万円 24年3月期 61,193百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期				3.00	3.00
25年3月期					
25年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	405,000	0.7	7,500	26.5	6,500	24.7	7,000	183.1	13.74
通期	840,000	2.9	16,500	0.4	14,500	2.5	10,000	195.4	19.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料) P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、(添付資料) P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	510,024,159 株	24年3月期	510,024,159 株
期末自己株式数	25年3月期1Q	402,938 株	24年3月期	400,639 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	509,621,417 株	24年3月期1Q	508,440,816 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスク等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、(添付資料) P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第一種優先株式					
24年3月期				20.00	20.00
25年3月期					
25年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要を背景として緩やかな持ち直し傾向にあるものの、欧州債務危機の深刻化や中国経済の成長鈍化、今夏の電力供給問題等の不安要素により、先行きは依然不透明な状況となっております。

水産・食品業界におきましても、消費者の根強い低価格志向等、厳しい事業環境が続いています。

このような状況下で、当社グループは、中期三ヵ年経営計画「ダブルウェーブネクスト(2011-2013)」の二年目となる当期の目標達成に向け、M&Aの推進や不採算子会社の切り離しなど事業の選択と集中を進め、組織・資本の最適化や経営管理体制の強化に努めてまいりました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は195,009百万円(前年同期比3.9%減)、営業利益は3,939百万円(前年同期比35.9%減)、経常利益は4,905百万円(前年同期比20.6%減)となりました。四半期純利益は厚生年金基金の代行部分返上による特別利益の計上等により、7,057百万円(前年同期比165.9%増)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 水産事業

水産セグメントは、国内外の漁業・養殖事業、すりみの生産販売を中心とした北米事業、海外調達ネットワークを持つ水産商事事業、市場流通の基幹を担う荷受事業及び市場外流通を受け持つ戦略販売事業から構成され、国内外の市場動向を注視しながらお客様のニーズに対応した的確な買付販売と加工事業の強化により、収益の確保に努めました。

漁業・養殖事業では、漁撈事業は沖合まき網及び海外事業の不振、養殖事業はマグロの売価が上昇したもののカンパチの売価の低迷が続き、全体では減収減益となりました。

北米事業は、ズワイガニの生産・販売が流氷により遅れたものの、昨年とほぼ同水準の漁獲枠となったスケソウダラを効率的に漁獲・生産することができ、すりみ・助子の販売も順調に推移したことから増収増益となりました。

水産商事事業は、チリ産の鮭鱒の市況下落の影響を受けて冷凍魚全般の荷動きが悪化したこと、エビは買付コストの上昇に対し十分な売価転嫁ができなかったこと等により、減収減益となりました。

荷受事業は、引き続き取扱量の減少に歯止めがかからないなか、マグロや鮮魚の仕入価格上昇、及び冷凍鮭鱒の相場下落による影響により、減収減益となりました。

戦略販売事業は、主要原料価格が低下するなか、量販、生協、コンビニ、及び寿司業態向けの販売が好調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、水産セグメントの売上高は120,648百万円(前年同期比5.5%減)、セグメント利益は2,023百万円(前年同期比40.1%減)となりました。

#### 食品事業

食品セグメントは、市販用及び業務用冷凍食品の製造・販売を行う冷凍食品事業、缶詰・フィッシュソーセージ・ちくわ・デザート・ペットフード等の製造・販売を行う加工食品事業、畜産物及び飼料を取り扱う畜産事業、化成品・調味料・フリーズドライ製品の製造・販売を行う化成品事業並びにアジア・オセアニア事業から構成され、お客様のニーズにお応えする商品の開発・製造・販売を通じて収益の確保に努めました。

冷凍食品事業は、前年同期には震災で被害を受けた生産拠点が操業停止を余儀なくされましたが、他工場への生産移管、被災工場の復旧、市場でのシェア回復に努めたこと及び業務用の重点カテゴリー商材の伸長等により増収増益となりました。

加工食品事業は、缶詰や飲料における昨年度の需要の反動、及びペットフードの販売不振により減収となり、さらに缶詰の販促費用の増加、ペットフードや果汁飲料における原料高等もあり減益となりました。

畜産事業は、輸入豚肉や南米産魚粉の取扱い減少により減収となりましたが、牛肉事業や加工品事業における利益率の向上により、前年並みの利益を確保いたしました。

化成品事業は、乾燥食品において生産移転した工場の稼働により売上が回復したものの、バイオ関連のサプリメントや調味料の販売不振により、減収減益となりました。

アジア・オセアニア事業は、タイにおいて生産された冷凍食品の販売において、日本、米国、オセアニア市場向けは好調に推移して増収となりましたが、欧州向け缶詰の販売不振、及び缶詰や冷凍食品原料の高騰により減益となりました。

以上の結果、食品セグメントの売上高は69,072百万円(前年同期比1.6%減)、セグメント利益は2,283百万円(前年同期比30.8%減)となりました。

### 保管物流事業

保管物流セグメントは、お客様の物流コスト削減による在庫圧縮の傾向が続くなか、水産物をはじめ畜産品や冷凍食品の集荷営業活動を行いました。

入庫数量は前年同期よりやや減少したものの、入庫数量に比べて出庫数量が少なかったため、当期末の在庫数量は前年同期より増加いたしました。

輸配送事業等の周辺事業もほぼ順調に推移し、保管物流セグメントの売上高は3,902百万円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益は353百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は495,474百万円となり、前連結会計年度末に比べ27,420百万円増加いたしました。これは主として新規連結子会社の取得による増加であります。

負債は413,947百万円となり、前連結会計年度末に比べ19,631百万円増加いたしました。これは主として借入金の増加によるものであります。

少数株主持分を含めた純資産は81,527百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,789百万円増加いたしました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月7日に公表しました平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### （税金費用の計算）

一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ26百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,847	12,943
受取手形及び売掛金	95,839	110,748
たな卸資産	114,913	122,907
その他	16,333	18,277
貸倒引当金	△778	△852
流動資産合計	242,155	264,023
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,177	49,784
土地	58,511	59,764
その他(純額)	28,384	31,677
有形固定資産合計	133,073	141,226
無形固定資産		
のれん	18,176	19,912
その他	6,788	7,065
無形固定資産合計	24,964	26,977
投資その他の資産		
投資その他の資産	79,498	74,853
貸倒引当金	△11,638	△11,606
投資その他の資産合計	67,860	63,246
固定資産合計	225,899	231,451
資産合計	468,054	495,474
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,656	38,312
短期借入金	174,574	187,063
引当金	1,593	3,696
その他	35,429	40,526
流動負債合計	242,253	269,599
固定負債		
長期借入金	116,392	113,246
退職給付引当金	28,001	22,248
その他の引当金	341	334
その他	7,327	8,517
固定負債合計	152,062	144,347
負債合計	394,316	413,947

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	31,000	31,000
資本剰余金	31,699	31,699
利益剰余金	9,910	15,304
自己株式	△68	△68
株主資本合計	72,542	77,935
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△577	△1,192
繰延ヘッジ損益	12	6
為替換算調整勘定	△10,783	△8,883
その他の包括利益累計額合計	△11,348	△10,069
少数株主持分	12,544	13,660
純資産合計	73,737	81,527
負債純資産合計	468,054	495,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	202,850	195,009
売上原価	173,018	167,240
売上総利益	29,832	27,768
販売費及び一般管理費	23,683	23,829
営業利益	6,148	3,939
営業外収益		
受取配当金	545	563
雑収入	738	1,367
営業外収益合計	1,283	1,931
営業外費用		
支払利息	960	837
雑支出	297	126
営業外費用合計	1,257	964
経常利益	6,175	4,905
特別利益		
厚生年金基金代行返上益	—	8,570
その他	27	18
特別利益合計	27	8,588
特別損失		
事業整理損失引当金繰入額	—	2,002
災害による損失	668	—
その他	85	51
特別損失合計	754	2,054
税金等調整前四半期純利益	5,448	11,440
法人税等	2,612	4,319
少数株主損益調整前四半期純利益	2,835	7,121
少数株主利益	180	63
四半期純利益	2,654	7,057

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,835	7,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△155	△624
繰延ヘッジ損益	10	△5
為替換算調整勘定	1,036	2,197
持分法適用会社に対する持分相当額	100	220
その他の包括利益合計	990	1,787
四半期包括利益	3,826	8,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,539	8,337
少数株主に係る四半期包括利益	286	571

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	保管物流 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	127,615	70,222	3,637	201,475	1,374	202,850	—	202,850
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,100	1,486	1,288	7,875	104	7,979	△7,979	—
計	132,715	71,709	4,926	209,351	1,478	210,830	△7,979	202,850
セグメント利益	3,379	3,300	293	6,974	118	7,092	△943	6,148

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料等の保管業、海運業、不動産業、ホテル業及び毛皮の製造販売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△943百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用が△963百万円含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	保管物流 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	120,648	69,072	3,902	193,624	1,384	195,009	—	195,009
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,733	1,742	1,308	8,785	105	8,890	△8,890	—
計	126,382	70,815	5,210	202,409	1,490	203,899	△8,890	195,009
セグメント利益	2,023	2,283	353	4,659	164	4,824	△885	3,939

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料等の保管業、海運業、不動産業、ホテル業及び毛皮の製造販売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△885百万円には、セグメント間取引消去31百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用が△916百万円含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。